

F★★★★

ホルムアルデヒド登録認定商品

非トルエン・キシレン塗料

(社)日本塗料工業会 室内環境対策の自主表示
ガイドライン「非トルエン・キシレン塗料」に適合



ALES

DYNAMIC PRESSURE

全天候形 水性反応硬化形防水多機能プライマーサーフェーサー

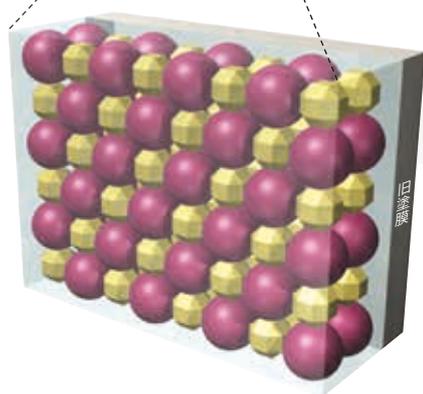
アレスダイナミックプラサフ

ダブルマイクロ技術により、 緻密な塗膜を形成し、防水性能が向上します。

一般微弾性下地

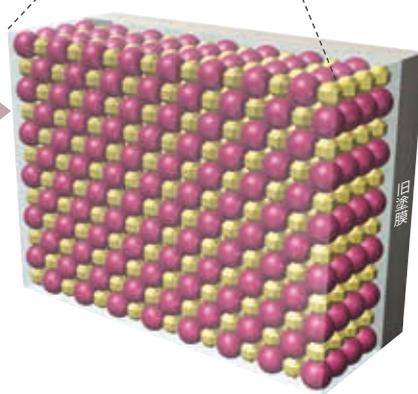


アレスダイナミックプラサフ



樹脂&顔料を
マイクロ化

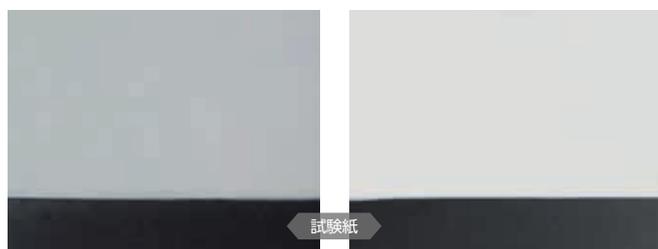
樹脂&顔料をマイクロ化し、
きめ細かい滑らかな肌(緻密な
塗膜)を形成します。



優れた仕上り性

隠ぺい性が非常に高く、下地への吸い込みが少ないため、
上塗の仕上り(光沢感)が一層向上します。

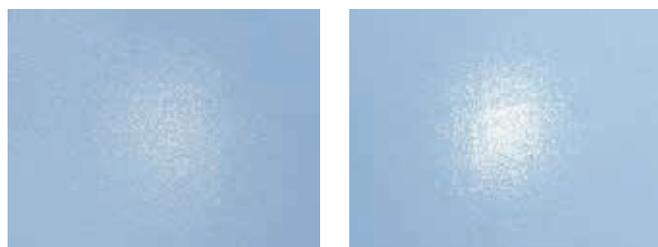
■ JIS A 5600 隠ぺい性(試験紙への塗装による比較)



一般微弾性下地

アレスダイナミックプラサフ

■ アレスダイナミックTOP(上塗)での光沢比較



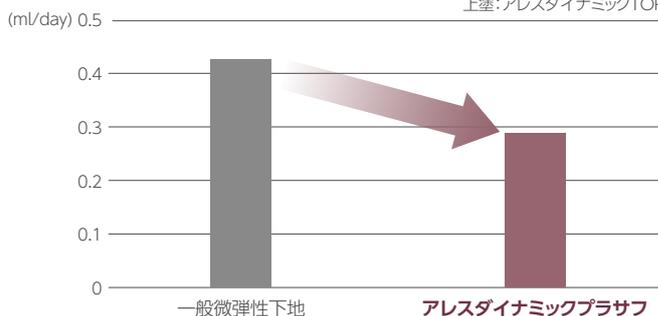
一般微弾性下地

アレスダイナミックプラサフ

防水性

■ JIS A 6909 透水性(中毛ローラー塗装)

上塗:アレスダイナミックTOP

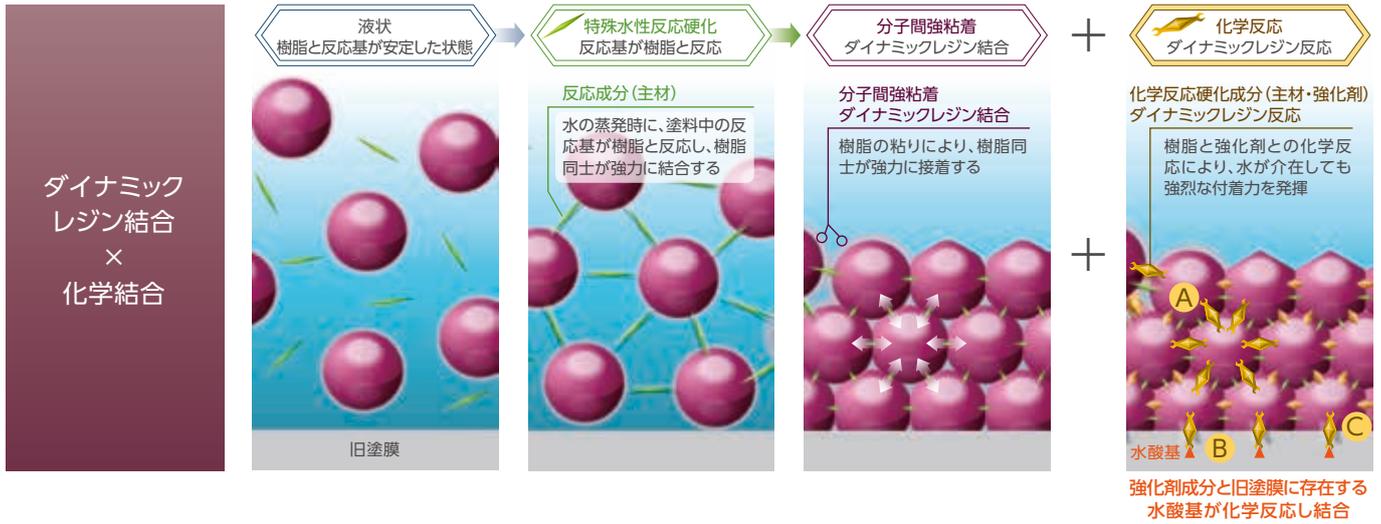
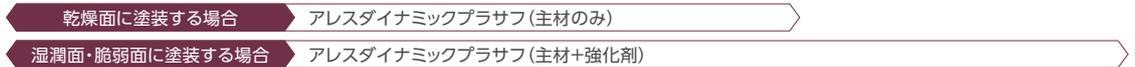


防カビ・防藻性

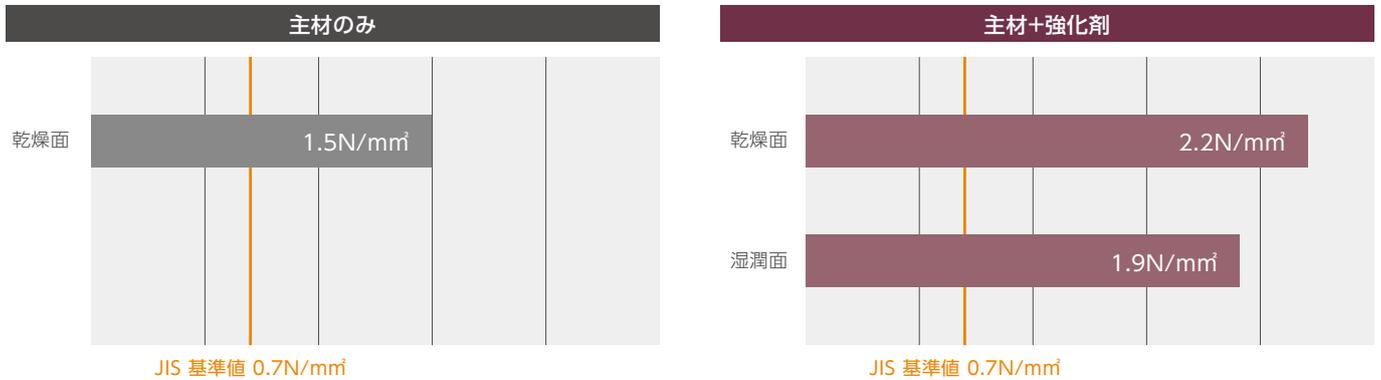
抵抗性試験で菌糸の生育は認められないレベルの防カビ・
防藻性を有しています。

優れた付着力

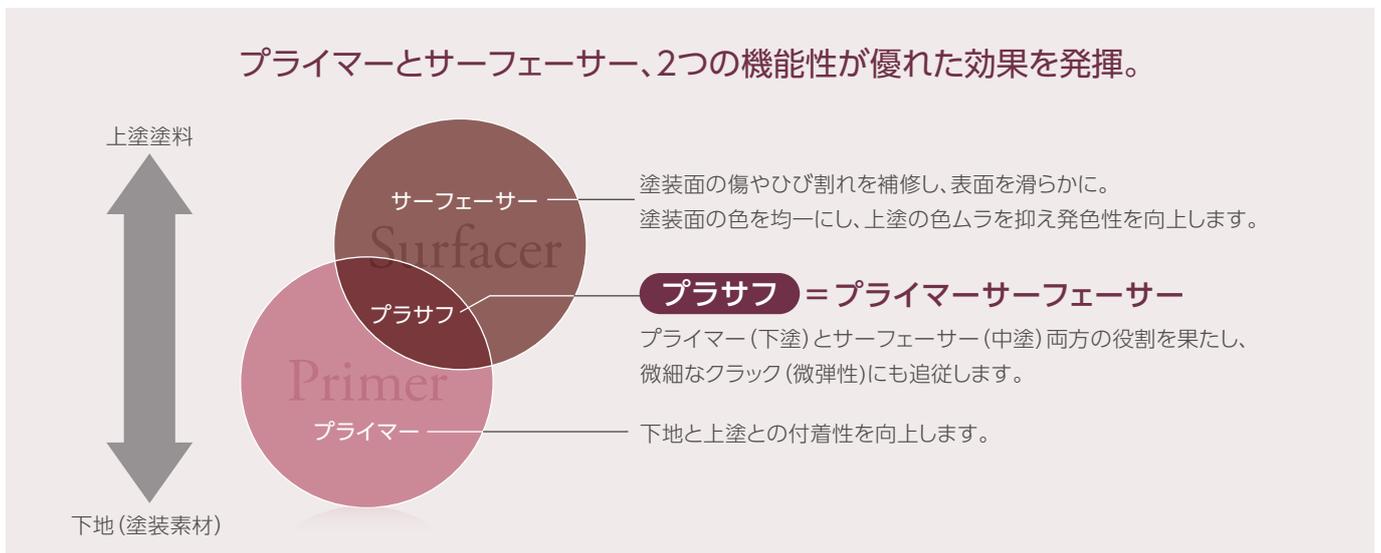
下地に対し高い付着力を有し、ダイナミック共通強化剤を使用することで付着力がさらに向上します。
乾燥面は主材のみ施工可能で、湿潤面は主材にダイナミック共通強化剤を混入することで施工可能です。



■付着試験 JIS基準値 0.7N/mm² (現地試験)



プライマーとサーフェーサー、2つの機能が優れた効果を発揮。



■ アレスダイナミックブラサフ 標準塗装仕様

艶あり〜3分艶仕様

工程	塗料名・処置	塗装方法	標準所要量(kg/m ² /回)	希釈率(重量%)	塗装間隔(23℃)
素地調整	劣化した旧塗膜をディスクサンダー、スクレーパー、皮スキ、ワイヤーブラシを用いて除去する。エフロ・レイタンス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去する。モルタルの場合、浮き・クラックなどは適切な処置を行う。				
下 塗	アレスダイナミックブラサフ※1 2液の場合(ベース/15kg, 強化剤/0.08kg×1缶) 上水	中毛ローラー	0.30~0.50	乾燥面: 0~3 湿潤面: 0~2	乾燥面: 4時間以上7日以内 湿潤面: 8時間以上7日以内
上塗1回目	アレスダイナミックTOP※1 2液の場合(ベース/15kg, 強化剤/0.08kg×2缶) 上水	ハケ・ローラー	0.12~0.14	3~5	乾燥面: 2時間以上7日以内 湿潤面: 8時間以上7日以内
上塗2回目	アレスダイナミックTOP※2 2液の場合(ベース/15kg, 強化剤/0.08kg×2缶) 上水	ハケ・ローラー	0.12~0.14	3~5	—

※標準所要量は、被塗物の形状や下地の状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。

※1 湿潤面塗装時は、乾燥時間が乾燥面に比べ2~3倍程遅くなります。 ※2 上塗2回目は、乾燥した状態で塗装してください。

艶消し仕様

工程	塗料名・処置	塗装方法	標準所要量(kg/m ² /回)	希釈率(重量%)	塗装間隔(23℃)
素地調整	劣化した旧塗膜をディスクサンダー、スクレーパー、皮スキ、ワイヤーブラシを用いて除去する。エフロ・レイタンス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去する。モルタルの場合、浮き・クラックなどは適切な処置を行う。				
下 塗	アレスダイナミックブラサフ※1 2液の場合(ベース/15kg, 強化剤/0.08kg×1缶) 上水	中毛ローラー	0.30~0.50	乾燥面: 0~3 湿潤面: 0~2	乾燥面: 4時間以上7日以内 湿潤面: 8時間以上7日以内
上塗1回目	アレスダイナミックTOP艶消し※2 上水	ハケ・ローラー	0.12~0.14	0~10	2時間以上7日以内
上塗2回目	アレスダイナミックTOP艶消し※2 上水	ハケ・ローラー	0.12~0.14	0~10	—

※標準所要量は、被塗物の形状や下地の状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。

※1 湿潤面塗装時は、乾燥時間が乾燥面に比べ2~3倍程遅くなります。 ※2 アレスダイナミックTOP艶消しは、湿潤面への塗装はできません。

■ 荷姿：アレスダイナミックブラサフ主材:15kg、アレスダイナミック共通強化剤:0.08kg×1

適用下地

窯業系サイディングボード、コンクリート、モルタル※ など

※コンクリート・モルタルは、アレスダイナミックシーラーアクア等の下塗を塗装してください。

【適用下塗】

アレスダイナミックシーラーアクア:15kgセット(ベース/12.5kg, 硬化剤/2.5kg)

アレスダイナミックシーラーマイルド:15kgセット(ベース/12.5kg, 硬化剤/2.5kg)

マルチタイルコンクリートプライマー-EPO:20kgセット(ベース/16kg, 硬化剤/4kg)

※施工上の注意事項をご参照ください。

適用旧塗膜

リシン、スタッコ、吹付タイル、単層弾性、アクリル樹脂系塗料、ウレタン樹脂系塗料、エマルジョン塗料 など

【適用上塗】

● 水性上塗

アレスダイナミックMUKI:15kg, アクアセラシロンOne:15kg

アレスアクアシリコンACII:15kg, コスモシリコン:15kg

● 弱溶剤上塗

セラMフツン:15kgセット(ベース/12.9kg, 硬化剤/2.1kg)

セラMシリコンIII:16kgセット(ベース/13.7kg, 硬化剤/2.3kg)

コスモマイルドシリコンII:14kgセット(ベース12kg, 硬化剤/2kg)

セラMレタン:16kgセット(ベース/14.5kg, 硬化剤/1.5kg)

施工上の注意事項

- ① ベース、強化剤は規定量の配合で行ってください。ベース、強化剤混合は攪拌機(オートマゼール)を用いて、よくかき混ぜて均一にしてください。(特に缶の四隅は十分に攪拌してください。)
- ② 使用時限を越えた塗料は絶対に使用しないでください。(必ず使用時限内に使い切ってください。)
- ③ 使用時限以上経過した塗料は、所定の塗膜性能を発揮しないため、塗料状態が塗装可能であっても使用しないことを厳守してください。(23℃で4時間以内)
- ④ 希釈率は、環境温度によって変化する場合がありますので模様をよく確認して調整してください。
- ⑤ 軽度の水滴はそのまま塗装できますが、水量が多いと付着力低下やパターンが作れなくなりますので、水滴をウエスで軽く拭き取るか、エアブローで水滴を飛ばしてから塗装ください。
- ⑥ 軽重モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業サイディングおよび発泡ウレタンなどを使用した壁断熱工法などの「高断熱型外壁」を塗り替える際、旧塗膜が溶剤系アクリルトップである場合は蓄熱や水の影響、塗装後の環境などいくつかの条件が重なることで、塗膜のふくれが生じることがあります。旧塗膜をラッカーシンナー拭きして簡単に塗膜が再溶解する場合は、下塗に「マルチタイルコンクリートプライマー-EPO」を塗装してください。
- ⑦ シーリング材の上はフレや汚れが生じることがありますので、塗装は避けてください。やむなく塗装される場合は下塗の前に「シーブラ」または「マルチタイルコンクリートプライマー-EPO」をご使用ください。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・入り巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 火気や高温の白熱体に近づかないこと。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
- 火災を発生しない工具・防塵型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
- 裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振り回し、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

- ⑦ ハケ塗りや補修塗りを行う際、ローラー塗りとの仕上り肌や希釈率の違いによる色相差が生じることがありますので、ご留意ください。
- ⑧ 旧塗膜がスタッコのような大柄模様の場合は各工程の塗料を十分に塗り込んでください。
- ⑨ 弾性スタッコへの塗装はできません。
- ⑩ 強溶剤系の上塗料を塗装した場合、旧塗膜・シーラーの種類によってはちぢみ・シワなどの仕上り不良が生じることがあります。
- ⑪ 強化剤は湿気を吸いやすいため、保管場所、保管状態に十分ご注意ください。
- ⑫ 強化剤は第3石油類危険物第4類となるため、危険物貯蔵保管場所を確保してください。(ベース、強化剤混合後は非危険物扱いとなります。)取扱中では出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、保護メガネ、手袋、頭巾、長袖作業服、襟巻きタオルなどを着用してください。皮膚に付着した時は、石鹸水で洗い落とし、痛みや外傷が生じた時は医師の診断を受けてください。取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、鼻洗浄を十分に行ってください。
- ⑬ その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細については安全データシート(SDS)をご参照ください。

- 目に入った場合: 直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合: 直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
- 吸入した場合: 空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
- 廃棄 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)
- 施工上の安全 本品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施工主に対して安全に十分に注意を払うように指導してください。
- 例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757

東京 TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935

中国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285

東北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073

中部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981

四国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950

北関東信越 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223

大阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603

九州 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご諒承ください。

(19年08月03日PKO) カタログNo.855